※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００１

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	新編「文学国語」　（大修館書店出版）						
副教材等	チャレンジ常用漢字　（第一学習社出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では文学的な文章を読み、課題に対して自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に 表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
⑴生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
⑵深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに，創造的に考える力を養い，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
⑶言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	・「書くこと」において、文章の構成や展開，表現の仕方などについて，伝えたいことや感じてもらいたい ことが伝わるように書かれているかなどを吟味して，文章全体を整えたり，読み手からの助言などを踏まえて，自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。 ・「読むこと」において、　文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開，描写の仕方などを的確に捉え、人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を深めること。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を　向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社　会に関わろうとする態度を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	筆者の考えと比較しながら自分の生き方を深く考える。 ［教材］ 「少なくとも最後まで歩かなかった」	a：言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解することができる。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ，人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を深めることができる。 c：積極的に作者の考えと比較しながら、自分の生き方を深く考えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
	作品の描写や表現から、登場人物の性格や心情を捉える。 ［教材］ 「晴れた空の下で」	a：言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解することができる。 b[読]：文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開，描写の仕方などを的確に捉えることができる。 c：積極的に作品の描写や表現から、登場人物の性格や心情を捉えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
	登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。（Ⅰ） ［教材］ 「山月記」	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができる。 b[読]：作品に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉えるとともに，作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，作品の解釈を深めることができる。 c：積極的に登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
	読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書く。 ［教材］ 「一言で心をつかもう」 「魅力を言葉で表そう」	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b[書]：読み手の関心が得られるよう，文章の構成や展開を工夫することができる。 c：積極的に読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書こうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
2学期	詩に表された作者の心情を読み味わう。 ［教材］ 「小景異情」 「永訣の朝」	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができる。 b[読]：文章の構成や展開，表現の仕方を踏まえ，解釈の多様性について考察することができる。 c：積極的に詩に表された作者の心情を読み味わおうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
	登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深める。（Ⅱ） ［教材］ 「こころ」	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができる。 b[読]：作品に表れているものの見方，感じ方，考え方を捉えるとともに，作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ，作品の解釈を深めることができる。 c：積極的に登場人物の生き方から、自分自身の生き方に関する考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	作品に込められた寓意を読み取り、考えを深める。 ［教材］ 「鞄」	a：文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めることができる。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ，人間，社会，自然などに対するものの見方，感じ方，考え方を深めることができる。 c：積極的に作品に込められた寓意を読み取り、考えを深めようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート
3学期	できごとや心情を川柳の形式で表現する。 ［教材］ 「川柳を作ろう」	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 b[書]：文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について，体系的に理解し使うことができる。 c：積極的に読み手の共感が得られるような言葉や表現を工夫して書こうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	登場人物の描写から、場面ごとの心情の変化を読み取る。 ［教材］ 「離さない」	a：言葉には，想像や心情を豊かにする働きがあることを理解することができる。 b[読]：語り手の視点や場面の設定の仕方，表現の特色について評価することを通して，内容を解釈することができる。 c：積極的に登場人物の描写から、場面ごとの心情の変化を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　２５　）時間

・読むこと　…　（　８０　）時間